



トムヤムクン

# タイのこと…聞いてみタイ？

タイ出身香取市国際交流員 ティ (ラタナウィモンチャイ チャヤンクン)



## タイ米・・・ジャスミンライス？香り米？

日本では今、米価高騰が問題になっています。価格が高いだけでなく、買いたくてもお店に在庫がなく、米不足な状態になって、「令和の米騒動」とも呼ばれています。香取市に来たばかりの頃は、道の駅水の郷さわらにいつも米が並んでいましたが、今は一袋もありませんでした。アメリカやタイからジャポニカ米を輸入した企業もあるというニュースを見ました。先月タイに帰った時にスーパーの米コーナーを覗いてみました。タイ産ジャポニカ米 2 kgの値段は 160 バーツで、現在の為替レートで計算すると約 700 円になります。私は家でいつもタイ米を食べていますが、おとしのエネルギーや食料価格の高騰、円安の影響で、2022 年に 5 kg 2,980 円を買ったタイ米は今 4,500 円にまで値上がりました。タイで買う場合、たった 750 円です！買って、日本に持ってきたくなりますね。



今回の「令和の米騒動」の30年ほど前に、「平成の米騒動」があったことは数年前に日本人の友人から初めて聞きました。その時にタイ米がたくさん輸入されましたが、さらさらしてパサついた食感のインディカ種のタイ米は日本人の口に合わず、とても酷評だったとも言いました。トムヤムクンやガパオライスを食べる時、私もタイ米と一緒に食べたいので、気持ちわかります。

タイ米といえば、「香り米」や「ジャスミンライス」とも呼ばれています。タイ語名は「ข้าวหอมมะลิ **カオ・ホーム・マリ**」です。日本のコシヒカリ、ゆめぴりか、あきたこまちなどと同じように、これはタイの代表的な米の品種名です。

カオ ข้าว = 米 、 ホーム หอม = 香り 、 マリ มะลิ = ジャスミン

訳から見ると「ジャスミンの香りがする米」という意味だと思いますよね。実は・・・違います！本当は、「ジャスミンのように白く、トーチの香りがする米」という意味です。

「เตย トーチ」というのは、葉っぱに芳香がある植物の名前です。東南アジアでは多く使われていて、英語名は「pandan」です。爽やかな緑色と甘い香りが特徴のトーチは、タイで昔から、小さく切った葉っぱに水を足し、絞りだした液体をお菓子やデザートへの着色と香り付けに使います。



出典：www.facebook.com/groups/912155456346525/permalink/1521250808770317/

トーチ汁を使った「カノム・シャン」

私はトーチの香りがするお菓子が好きで、よく買って食べます。タイで緑色のお菓子やデザートを見かければ、全てがトーチ味でしたが、10年ほど前に抹茶ブームの影響で、タイでも抹茶味のお菓子がたくさん作られるようになりました。トーチ味のお菓子かと思いきや、よく見たら抹茶味だったことが多々あります。逆に、抹茶味のお菓子が欲しかったのに、間違っトーチ味を買ってしまった日本人がいたかもしれません。トーチ汁を使ったタイデザートがたくさんあるので、タイに行ったら食べてみてほしいです。

タイ米の話に戻ります。柔らかめかかために炊くのは好みがあるかと思いますが、私はごはんの粒感がまだ残っているのが好きなので、少しかために炊いています。日本の炊飯器でも簡単に炊けるので、レンチンですぐ食べられるレトルトタイカレーやタイ料理と一緒にタイ米を食べれば、ちょっとした旅行気分になるかもしれません。

現在、SNSを通してタイ人に香取市のことを発信していますが、香取市のみなさんにタイのことを発信できていないと感じました。学校や市民の方々との異文化交流、タイのことでなくても在日外国人としての意見交換など、この月刊のようにお互いのことが少しでも知り合える機会ができればうれしいです！お手伝いできる企画などがあれば、ぜひ商工観光課までお声がけください。

4月15日に行われた香取神宮の  
神幸祭を初めて見に行きました



あやめ祭り6月22日まで開催中  
(2025年6月9日に撮影した映像)

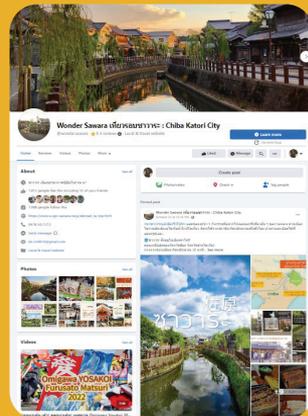


タイ人向けに香取市の情報をフェイスブックページ  
「Wonder Sawara เก็บดวงรอบซาวาระ : Chiba Katori City」  
にて発信しています。可能な限り日本語の文章も付ける  
ようにするので、ぜひ  
のぞいてみてください～  
(フォローをしていただ  
けたらうれしいです！)



FBページ →  
QRコード

または、フェイスブックアプリ  
で「Wonder Sawara」を検索



## プロタイ ラタナウィモンチャイ チャヤンクン

タイ、バンコク出身。CHULALONGKORN大学教育学部美術科卒。  
ウェブデザイナーとして1年間勤めた後、語学のため2008年に初  
来日。日本語学校を経て専門学校のグラフィックデザイン科に進  
学。卒業後は帰国し、新潟県湯沢町や群馬県みなかみ町のタイ語  
版パンフレット作製の依頼を受け、両町がタイの旅行博に出展す  
る際にも通訳としてお手伝いをしたことが日本観光に携わるきっ  
かけとなった。2018年再来日し、タイ語版編集者としてインバ  
ウンドウェブメディア会社に入社。2021年9月からは香取市の国際  
交流員として勤めている。

